

参考資料

Windows 8/Windows 8.1での AVRWRT3のインストールのしかた

概要

AVRWRT3をインストールするとき、Windows 7までは「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」というウインドウ上で、ユーザーが「インストールします」を選択することでAVRWRT3のデバイスドライバをインストールできましたが、Windows 8以降ではセキュリティが強化されたため、ドライバのインストールが強制的に停止させられてしまいます。

Windows 8/Windows 8.1でAVRWRT3のデバイスドライバを新規/更新/再インストールするには、Windowsの起動時オプションから、一時的に『**ドライバー署名の強制を無効**』にした状態で起動し、インストール操作を行う必要があります。

(参考：インストール終了後PCを再起動またはシャットダウンすると、元の設定に戻ります)

重要

- ◎ 以下に説明する手順は、一部のWindows 8/Windows 8.1マシンで検証した手順です。メーカー製やタブレット型(キーボードと画面が分離するタイプ)の場合、セットアップにメーカー独自の設定がなされているPCがあり、以下の手順ではインストールできない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 次ページ以降で説明する手順は、2014年12月時点で最新バージョンのWindows 8.1 (64ビット版)で検証しました。今後Windowsのバージョンアップに伴い、手順が変わる可能性もあります。あらかじめご了承ください。
- ◎ AVRWRT3のインストールは自己責任でお願いいたします。

インストール手順

1. 『ドライバー署名の強制』を一時的に無効にした状態でWindowsを起動する
2. 1の状態ではAVRWRT3をインストールする

上記の手順を、順序を追って説明します。

次ページ以降で説明する手順は、2014年12月27日、次の環境で検証しました：

- (1) PC：Lenovo製ノートPC
- (2) OS：Windows 8.1 64ビット版
- (3) AVRWRT3のバージョン：1.6.0.2 (2014年12月時点での最新バージョン)

1. 『ドライバー署名の強制』を一時的に無効にした状態でWindowsを起動する

『ドライバー署名の強制』を無効にした状態でWindowsを起動するにはいくつかの方法がありますが、そのうちの1つとして、「PC設定の変更」から行う方法について説明します。
(他にも「ファイル名を指定して実行」から行う方法、コマンドプロンプト(cmd.exe)から行う方法などいくつかの方法があるので、下記の方法でうまくいかない場合は各自で調べて試してください)

❗ 重要

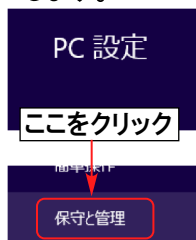
◎ この操作を行う前に、開いているアプリケーションプログラムをすべて閉じて(終了させ)、ファイルを保存してください。(保存しないと作業内容が失われることがあります)



(1) Windows上で「チャームバー」を出し、「設定」(歯車のアイコン)をクリックします。「PC設定の変更」をクリックします。

ここをクリック

(2) 「PC設定」のメニューが出ますので、「保守と管理」をクリックします。「保守と管理」メニューから、「回復」をクリックし、「PCの起動をカスタマイズする」から「今すぐ再起動する」をクリックします。

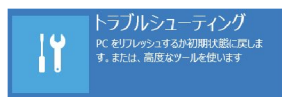


PCの起動をカスタマイズする

デバイスまたはディスク (USB ドライブや DVD など) からの起動、Windows はシステムイメージからの Windows の復元を行います。この操作を行う

今すぐ再起動する

ここをクリック



(3) 「オプションの選択」という青い画面になります。「トラブルシューティング」->「詳細オプション」->「スタートアップ設定」の順にクリックします。

◎ スタートアップ設定

再起動して、次のような Windows オプションを変更します:

- 最新機能のインストール
- アプリを再インストール
- デバイスを再起動
- セーフモードで起動
- デバイス署名を強制しない
- 最新機能のインストールをオフにする
- システム復元を強制しない

(4) 「スタートアップ設定」の画面中の「再起動」ボタンをクリックすると、PCが再起動します。

このボタンをクリックして再起動します

再起動

スタートアップ設定

オプションを選択するには、番号を押してください

番号には、数字キーまたはファンクションキーのFからF9を使用します。

- 1) デバッグを有効にする
- 2) ブートログを有効にする
- 3) 低解像度ビデオを有効にする
- 4) セーフモードを有効にする
- 5) セーフモードとネットワークを有効にする
- 6) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする
- 7) ドライバー署名の強制を無効にする
- 8) 起動時マルウェア対策を無効にする
- 9) 障害発生後の自動再起動を無効にする

(5) PCが再起動すると、起動オプションの選択画面(「スタートアップ設定」という青い画面)になります。「7) ドライバー署名の強制を無効にする」というメニューがあります。キーボードから「7」を入力します(※テンキー側の数字キーは使用できません。注意してください)。

(6) 「ドライバー署名の強制」が無効になった状態でWindowsが起動します。(参考：インストール終了後PCを再起動またはシャットダウンすると元の設定に戻ります)

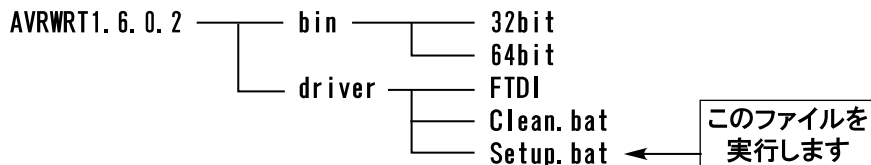
2. 1の状態ですべてAVRWRT3をインストールする

「ドライバー署名の強制」を無効にした状態でWindowsが起動したら、Windows 7の場合と同じ手順でAVRWRT3のデバイスドライバと実行プログラムをインストールします。

(1) “driver” フォルダにある “Setup” を実行します。

AVRWRT付属のCD-Rの内容をPCのハードディスクにコピーします。コピーしたフォルダ中の“driver”フォルダにある“Setup.bat”を実行してください。これにより、AVRWRTのデバイスドライバをPCにプリインストールします。

(※AVRWRT3本体はまだPCに接続しないでください)



(2) 「FTDI USBデバイスドライバ インストーラへようこそ！」の画面が出ます。[次へ]ボタンをクリックして、プリインストールを開始してください。

→ このドライバー ソフトウェアをインストールしない(N)
お使いのデバイス用の、更新されたドライバー ソフトウェアが存在するか
どうか製造元の Web サイトで確認してください。

→ このドライバー ソフトウェアをインストールします(I)
製造元の Web サイトまたはディスクから取得したドライバー ソフトウェアのみインストールしてください。その他のソースから取得した署名のないソフトウェアは、コンピューターに危害を及ぼしたり、情報を盗んだりする可能性があります。

※「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」というウインドウ(左図)が出ます。[このドライバソフトウェアをインストールします]を選択してプリインストールを進めてください。

デバイスドライバのプリインストールが完了すると、「FTDI USBデバイスドライバのインストールが完了しました」というウインドウが表示されます。[完了]ボタンをクリックしてウインドウを閉じます。

(3) AVRWRT3本体を付属のUSBケーブルでPCに接続します。

実際のデバイスドライバのインストールが始まります。

(参考：デバイスドライバが正常にインストールできたかどうかは、次の(4)でコピーしたAVRWRT3の実行ファイルをダブルクリックして起動するかどうかでわかります)

